

郷土の川を見つめる人々 ～足羽川で見られる鳥～



今年3月まで河川工事が行われたり桜並木が撤去されたりと、変化の大きかった足羽川。鳥たちへの影響はどうか、日本野鳥の会福井支部の中林喜悦さんの案内で河原を散策してきました。バードウォッチング

には朝が最適ということでスタートは午前8時前。福井豪雨の際に決壊した木田橋上流付近は今も工事が続いています。実は鳥が多く集まるスポットだそうです。心配をよそに、取材を行った11月には多くの冬鳥の姿が確認できました。ダイサギ、コサギ、アオサギ、カワウ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモなど代表的な冬鳥たち、数はざっと120羽ほどはいたでしょうか。ひばりが縄張り争いをする声も聞かれました。日野川ではこの冬もコハクチョウの姿が確認されたそうで福井県にはゆたかな水辺が存在し、多くの鳥たちの生息地となっ

ていることを実感します。これから暖かくなるとウグイス、カルガモ、ホオジロ、ヒヨドリ、キジ、ヤマセミなどの姿も見つけやすいとか……。春の日差しの中、双眼鏡とポケット図鑑を片手に生まれ変わった川沿いを散策してみたいいかがでしょうか。



▲ホオジロ



▼ヒバリ



▶ウグイス

▶キジ



ヤマセミ

写真提供/日本野鳥の会

知っておきたい 川のコト

河川の樹木伐採

川は、護岸工事できれいに整備されているところもあれば、川岸に樹木が生い茂っているところも多くあります。植生状況によっては森のようなところもあり、うっそうと茂る樹木の群れは、洪水時には大きな障害になります。水や流木、ゴミなどを堰き止めてしまう危険があるからです。そこで、洪水時の水の流れをスムーズにするために、河川の樹木伐採が行われます。事業という大きな工事ではありませんが、河川流域に住む人たちの暮らしを守るための洪水対策のひとつです。ただ、自然の再生力は驚くほどで、伐採からわずか数年で元に戻りつつあるのも現状です。



伐採前



伐採後



現在

九頭竜川橋付近

県内の主なまつりと行事

4 月	
1～20日	丸岡城桜まつり【坂井市】
8日	宇波西神社の神事芸能【若狭町】
1～15日	花換まつり【敦賀市】
1～30日	ふくい春まつり【福井市】 (越前時代行列は11日)
18日	糸崎の仏舞【福井市】
5 月	
3～4日	越前うるしの里まつり【鯖江市】
3～5日	さばえつつじまつり【鯖江市】
3日	式部とふじまつり【越前市】
16～17日	春のうまいもんまつり【勝山市】
16～17日	九頭竜新緑まつり【大野市】
19～21日	三国祭【坂井市】
23日	今庄そばまつり【南越前町】
5月30日～6月1日	越前陶芸まつり【越前町】
6 月	
1～30日	ゆりフェスタ【坂井市】
中旬～下旬	あわら北湯湖畔花菖蒲まつり【あわら市】

クイズ 答え

A1 ③ これは、東京ドーム約1.3杯分に相当。

A2 ② 上流からJR第7足羽川橋梁、岩屋橋、大久保橋、JR第5足羽川橋梁、JR第4足羽川橋梁、田尻新橋、高田大橋、JR第3足羽川橋梁、JR第1足羽川橋梁、幸橋、泉橋、木田橋、(ただし、幸橋に関しては、豪雨前から着手)

A3 ③ 公園の整備は河川空間を利用していただくためのもので、治水の効果はありません。

編集後記

今回の取材で、河川敷を歩いている方とお話する機会がありましたが、ドラゴンリバーの活動を見ていただく方がいらったということが何より嬉しかったです。夕焼けの美しさに感動したり、鳥の声に耳を傾けたり・・・遠くへ行かなくても、自然はすぐそこにあるのだと河原を吹く風に気付かされました。(川村 陽子)

福井豪雨から、5年。街の姿や河川の姿は回復し、何もなかったかのような気ええしますが、怖いのは、こういう気の緩み。自然災害に対する意識は常に持っていきたいですね。(坂口 よし子)

編集・お問い合わせ NPO法人 ドラゴンリバー交流会

〒918-8031 福井市種池2丁目305 (福井市治水記念館内) TEL&FAX 0776-33-1850
http://www.doragon.or.jp Email:info@doragon.or.jp

発行 福井県

かわらばん ふくい

創刊号

2009.3 発行



写真 若木の植樹祭の様子 (H21.3.15)

新生・足羽川の姿

豪雨を乗り越えて、今

めざせ! KAWA博士!!

福井豪雨の被害を受けた足羽川の復旧工事が終わりを迎えました! 今回は、その工事にまつわるクイズを出題。

Q1

復旧工事では、川底を掘ったりして、たくさんの土砂が出ました。その量は、一般的な学校のプール何杯分でしょう?

①約1600杯分 ②約2400杯分 ③約4800杯分

Q2

豪雨の被害で、架け替えられた橋の数は何本? (ヒント: 日野川合流点から旧美山町の小宇坂島町までの区間)

①8本 ②12本 ③20本

Q3

災害に強い川にするためにしたこと、次のうち間違いはどれでしょう?

①川底を掘った ②堤防を強くした
③公園を整備した

新生・足羽川の姿 ～豪雨を乗り越えて、今～

福井豪雨

平成16年7月18日、足羽川流域を襲った「福井豪雨」は、福井市をはじめ流域市町に記録的な被害をもたらしました。

主な被害地域	福井市、鯖江市、大野市、旧美山町、旧今立町、池田町
人的被害	死者4名、行方不明者1名、負傷者19名
住宅被害	全壊57世帯、半壊139世帯、一部損壊211世帯、床上浸水3313世帯、床下浸水10324世帯
河川被害	足羽川の堤防決壊をはじめ、護岸破損、越水、漏水、閉塞など多数発生
道路被害	冠水、崩土、道路流失による全面通行止めの通行規制が、国道、県道、市町村道の各路線で多数発生
砂防被害	がけ崩れや土石流による土砂災害と護岸転倒、流失などの砂防設備災害が山間部で発生
鉄道被害	JR西日本越美北線が、橋梁流失により全線運転中止
ライフライン被害	停電約6300戸、電話不通600戸、断水3247戸



JR第3橋梁



旧美山町蔵作



足羽川破堤箇所

その他にも、濁流は学校や公園、文化施設、田畑などを飲み込みながら、各地に破滅的な爪跡を残しました。

河川改修後の景観

平成16年より、日野川合流地点から板垣橋上流のほぼ全ての区間で河床掘削（川底を掘り下げる工事）が行われてきました。川の様子は改修前後で、どのように変化したでしょう。私たちの憩いの場として、おなじみのスポットを紹介します。

水越橋周辺 春になると、河川敷にも色々な草花が彩りを与えてくれます。しかし一方では放置されたゴミが目立ちました「気持ちよく利用していただくためにも、マナーを守って頂きたい」と、利用者の声が多数聞かれます。



改修前



改修後

幸橋周辺 左岸側については桜堤と共存した堤防強化を行い、右岸側については特殊堤防（コンクリートなどを用いた壁状の堤防）の強化を行いました。また川の中については、みお筋（川の流れの筋となっている部分）を設け、水深に変化を持たせて魚等の自然環境に配慮しています。足羽川の名物として知られる桜堤の堤防については、賛否両論の意見がありましたが、様々な検討を踏まえた上で、安全を考えながら次世代の桜を残していくという方向で保全策が決定されました。



改修前



改修後

板垣橋周辺 堤防強化と共に自然石を利用し傾斜をゆるくすることで水際に近づきやすくしています。中州には水鳥の群れが羽を休め、自然観察にも最適。犬の散歩やウォーキングなど、思いおもいの姿でリフレッシュする人の姿がみられます。



改修前



改修後

一乗谷川周辺 水かさが増し本流の流れが強くなると、支流の水が合流できず、溢れてしまいます。これを防ぐために、支流と合流する手前に突堤（水制工）を設けて、流れを弱めています。写真は一乗谷川との合流地点付近。全部で7つの突堤が設けられています。上流から4基は急カーブで流れが外に向かうのを弱める働きをし、下流側3基は一乗谷川の合流を促すため流れを弱める働きをしています。



突堤設置前



突堤設置後 上流側4基



下流側3基

護岸がむき出しになっている場所と、石や土で覆っている場所があるのはなぜ？

足羽川の木田橋から国道8号までは川幅が広いので、なだらかな勾配で護岸を築くことができますが、下流の方は川幅が狭くなっている為、自然環境に配慮する余地が少なく安全を重視しています。

この度の河川改修で、安全になった川をもっと多くの人に知ってもらい、あの福井豪雨を忘れないように、継続的に防災意識を深めていきたいですね。

工事で特に苦労した点は？

梅雨や台風時期など水かさが増す時期にも安全を確保するため、水路を確保しながら片側ずつの作業を行ったことから、時間と手間が非常にかかった点です。また冬は雪による工事の中断や、春先は雪解けの影響で河川の水かさが増すなどの北陸の気候も作業に影響を与え苦労しました。

足羽川へ行こう

より安全に、より親しみやすくなった足羽川。天気の良い日には、川原で春を満喫してみませんか？

新しい橋の完成

市街地を流れる足羽川で、豪雨によって被害を受けた2つの橋の架け替え工事が終わりました。JR線を中央に挟んだ、木田橋と泉橋です。新しくなった2つの橋を紹介します。

木田橋

平成17年10月着工、20年12月完成。12月14日に開通式。

周辺との調和を考えて、柔らかな茶系で彩られた木田橋。左岸（南側）の歩道側には、かつて「銭とり橋」とよばれた木田橋の歴史を紹介した石碑があります。市街地に近い橋ということで、車や自転車、歩行者が途切れることなく往来がありました。利用する人に感想を聞いてみると、「歩道が下流側について不便になった」という声もありましたが、「街灯がついてきれい」、「歩道が歩きやすい」と、皆さん新しい橋の開通を喜んでいました。橋を歩いていると、下を流れる川の音が、トクトクと心臓音のように聞こえてきて、ただ歩くだけでも心地よくなれます。



泉橋

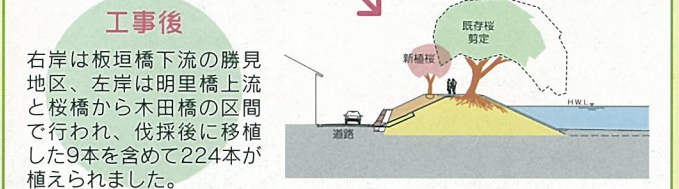
平成17年8月着工、21年2月完成。3月1日に開通式。

隣接する木田橋とともに開通が待ち望まれた泉橋。3月1日の開通式には、天候にも恵まれ、たくさんの人が訪れました。福井市消防音楽隊の音楽に合わせて、来賓や実行委員会委員長をはじめ順化・足羽小学校の児童等、大勢の参列者が渡り初めをして、泉橋の開通を祝いました。車のルートが変更になったため、交通量の変化で子どもや老人の事故が心配との声の一部である中、「毎日新しい橋を渡るのが楽しみ、気持ちいい」という声も多く聞かれました。



桜堤

今回の事業の目玉の一つともいえるのが桜堤の整備。福井市の戦災・震災復興の記念にと昭和27～28年に植えられ、長年市民に親しまれてきた足羽川の桜堤ですが、一方では堤防への植樹は、土が緩む等安全面での課題があるとも言われてきました。そこで慎重に検討を進めた結果、堤防に影響しない新たな植栽スペースを住宅側に設置し、そこに桜を植えるという保全策がとられました。



桜の時期に足羽川原を散歩コースにしている三谷館保育園では、工事の様子も子供たちにとっては楽しみなようです。いつの日か植えられた若木がたくさんの花を咲かせ、大きくなった子供たちと再会する……そんな光景が見られる日が楽しみです。



JR鉄橋～木田橋間の試験施工した桜

桜と子供たち

利用者の声

水越橋付近

毎年春先になると、この場所にたくさんのゴミが放置され、布団や家具などの粗大ゴミを捨てていく人がいます。また、水門にゴミを投げ入れる人もいて、たくさんのゴミが川に流れ出ています。

福井豪雨のあと、きれいな河川敷にはなりませんが、改修後のまま放置されている為、背丈ほどもある草が生え、土砂に覆われ、河川敷に降りていくのが困難な場所もあります。近隣に住む方が草を刈り、泥をよけてくださっている姿もみられますし、3月にはさまざまな団体の方が清掃に来てくださっているのを知っていますが、このように改修後の河川敷が放置されたままではゴミ問題は解決しないのではないのでしょうか。県の方でも、綺麗な状態が保てるように囑託を雇用して管理をするなど考えてほしいです。

気持ちよい天気だったので、車を止めて散歩していました。豪雨の時は、川のすぐそばまで水が来てとても恐ろしかったです。犬の散歩や、お子さんを連れて来る方もいらっしゃいますし、除草剤を使えないのかも知れませんが、これだけ草木が伸びていると、防犯上の問題が出てくるかも知れません。以前菜の花ロードが荒らされたという話を聞いたことがあり残念でした。

旧美山町

水の流れが良くなったと思いますし、以前より、自然を取り入れていることは感じています。しかし、釣り人の視点からすると、元々の深い場所も埋めてしまって、魚が喜ぶ造りではないですね。土砂が余計にあるというか、残しすぎな感じがします。安全第一なことは、理解していますが、

上新橋（国道158号線沿い、旧美山町の小和清水と朝谷町の境）から300mほど下流は、コンクリートのない、自然の流れという感じがしていいですよ。JRの鉄橋の向こうには剣ヶ岳が四季折々の姿を見せてくれます。

（福井市・Sさん 男性 40代）



県からの回答

美山地区の改修工事では洪水を安全に流すため、河床掘削を少なくして川幅を広げたので川底の部分が広くなったと感じるところがあるかもしれませんが、魚たちが住みやすいよう淵を保全するなどの配慮も行っています。細かい深みなどは出水の影響により変化したものも多く、今後も河川の状況を見ていきたいと思っています。

県からの回答

県では、河川の草刈り・清掃などの維持管理について、川守活動などを通じ地域の方々の協力をいただいているところです。川はみんなの憩いの場であり共有の財産です。今後も、みんなでゴミ拾いをしたり、川をきれいに保全していきましょう。

